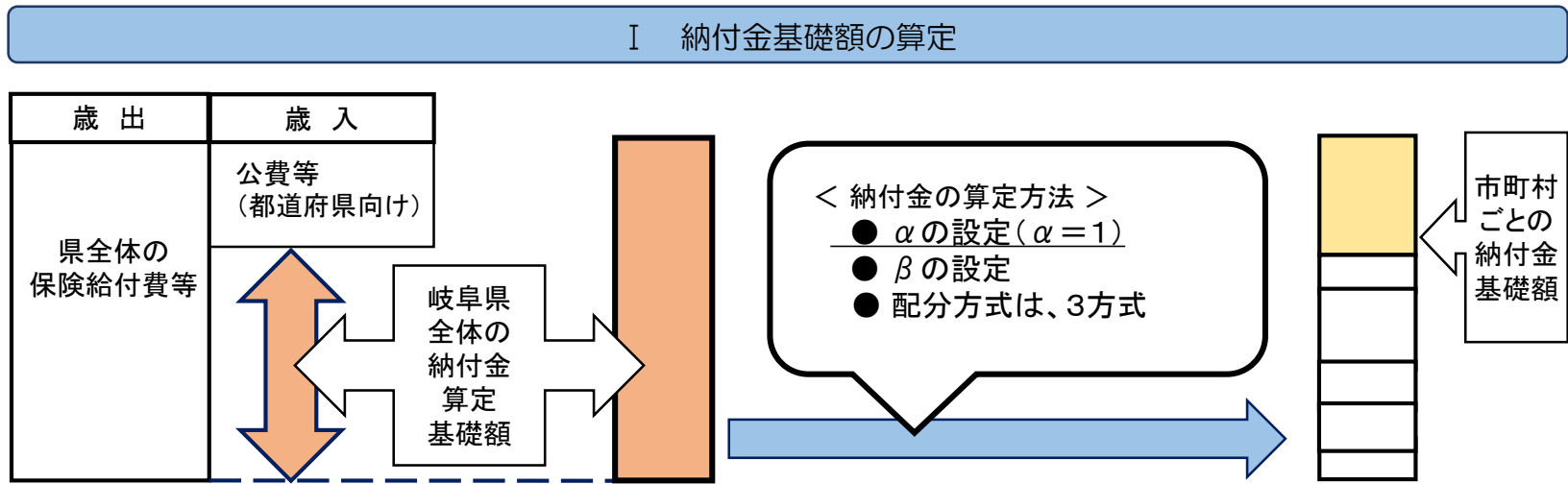


< 市町村標準保険料率の算定方法イメージ >

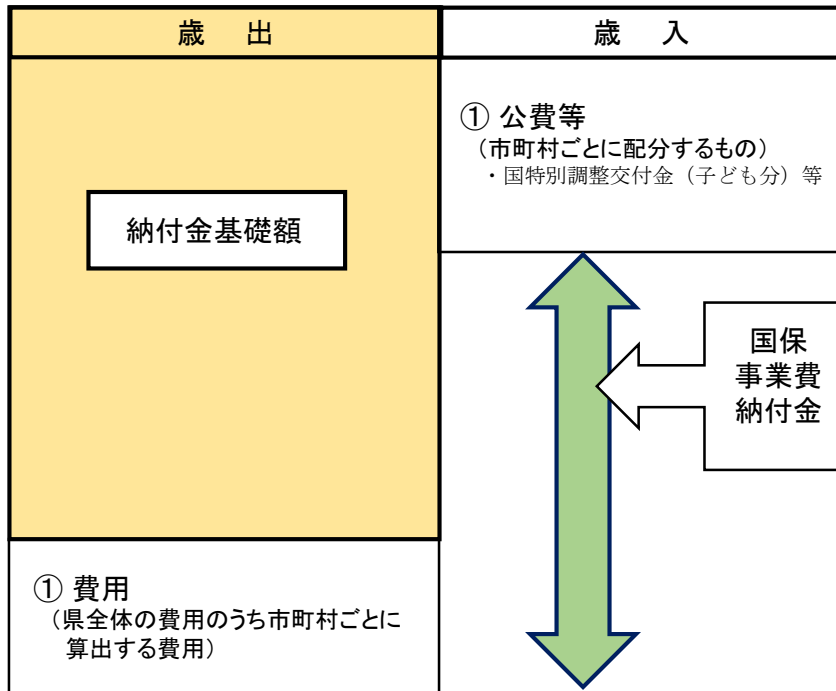
	平成30年度から当面の算定方法 (α=1)	将来的な保険料水準の統一化 [第1段階 (α=0)]	県内統一の保険料水準とする算定方法 [第2段階]																																																												
算定方法の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの「医療費水準」と「所得水準」を考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの「所得水準」のみを考慮 	<ul style="list-style-type: none"> 「所得水準」のみを考慮 各市町村独自の事業(保健事業、直診勘定繰出金、出産育児諸費等)を全市町村で負担 																																																												
算定方法	<p>I 納付金算定基礎額の算定</p> <p>保険給付費(県全体) - 県に対し交付される公費等</p>	<p>保険給付費(県全体) - 県に対し交付される公費等</p>	<p>保険給付費(県全体) - 県に対し交付される公費等 + 各市町村独自の事業に要する経費 - 各市町村に交付される公費等</p> <p> 各市町村独自の事業に要する経費 各市町村に交付される公費等 </p>																																																												
II 市町村ごとの納付金額の算定	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの医療費水準と所得水準を考慮して按分 <p> 各市町村が県に納める額 ※横は被保険者数、縦は1人あたりの保険料水準をイメージ </p>	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの所得水準のみを考慮して按分 	<ul style="list-style-type: none"> 市町村ごとの所得水準のみを考慮して按分 保険料収納率を考慮 																																																												
III 市町村標準保険料率の算定	<p>納付金 + 各市町村独自の事業に要する経費 - 各市町村に交付される公費等 = 保険料必要総額</p> <p> 市町村ごとの標準的な保険料収納率で割り戻して算定 </p> <table border="1"> <tr><td></td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>Z</td></tr> <tr><td>所得割</td><td>○</td><td>△</td><td>□</td><td>☆</td></tr> <tr><td>均等割</td><td>●</td><td>▲</td><td>■</td><td>◆</td></tr> <tr><td>平等割</td><td>◎</td><td>▽</td><td>◇</td><td>▼</td></tr> </table>		A	B	C	Z	所得割	○	△	□	☆	均等割	●	▲	■	◆	平等割	◎	▽	◇	▼	<p>納付金 + 各市町村独自の事業に要する経費 - 各市町村に交付される公費等 = 保険料必要総額</p> <p> 市町村ごとの標準的な保険料収納率で割り戻して算定 </p> <table border="1"> <tr><td></td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>Z</td></tr> <tr><td>所得割</td><td>△</td><td>◎</td><td>☆</td><td>□</td></tr> <tr><td>均等割</td><td>▲</td><td>◆</td><td>■</td><td>●</td></tr> <tr><td>平等割</td><td>○</td><td>▼</td><td>▽</td><td>◇</td></tr> </table>		A	B	C	Z	所得割	△	◎	☆	□	均等割	▲	◆	■	●	平等割	○	▼	▽	◇	<p>納付金額と保険料必要総額は、同じ。</p> <p> 市町村ごとの標準的な保険料収納率で割り戻して算定 </p> <table border="1"> <tr><td></td><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>Z</td></tr> <tr><td>所得割</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr> <tr><td>均等割</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr> <tr><td>平等割</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td><td>◎</td></tr> </table>		A	B	C	Z	所得割	○	○	○	○	均等割	●	●	●	●	平等割	◎	◎	◎	◎
	A	B	C	Z																																																											
所得割	○	△	□	☆																																																											
均等割	●	▲	■	◆																																																											
平等割	◎	▽	◇	▼																																																											
	A	B	C	Z																																																											
所得割	△	◎	☆	□																																																											
均等割	▲	◆	■	●																																																											
平等割	○	▼	▽	◇																																																											
	A	B	C	Z																																																											
所得割	○	○	○	○																																																											
均等割	●	●	●	●																																																											
平等割	◎	◎	◎	◎																																																											

市町村標準保険料率の算定方法の概略図 (平成30年度からの当面)

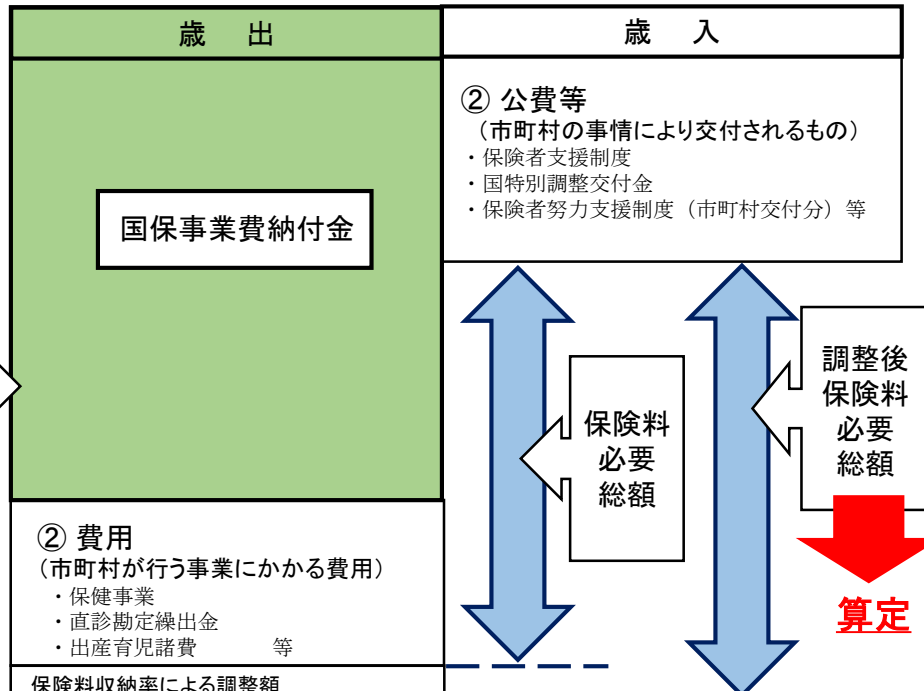
平成30年度からの当面の算定方法



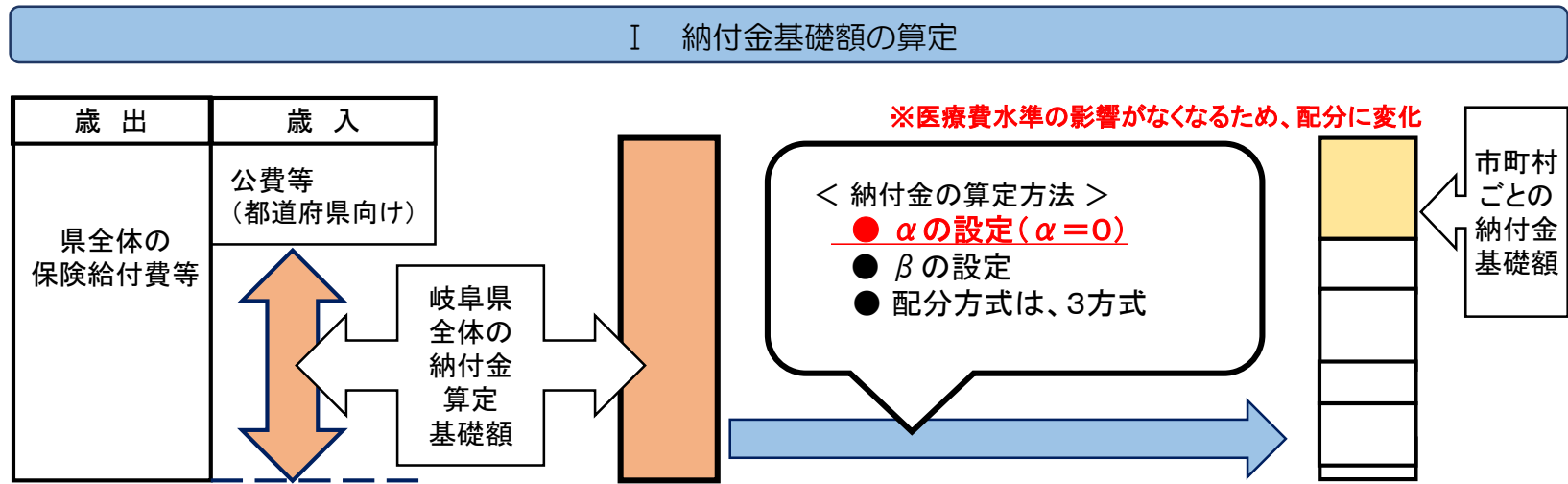
II 市町村ごとの国保事業費納付金の算定



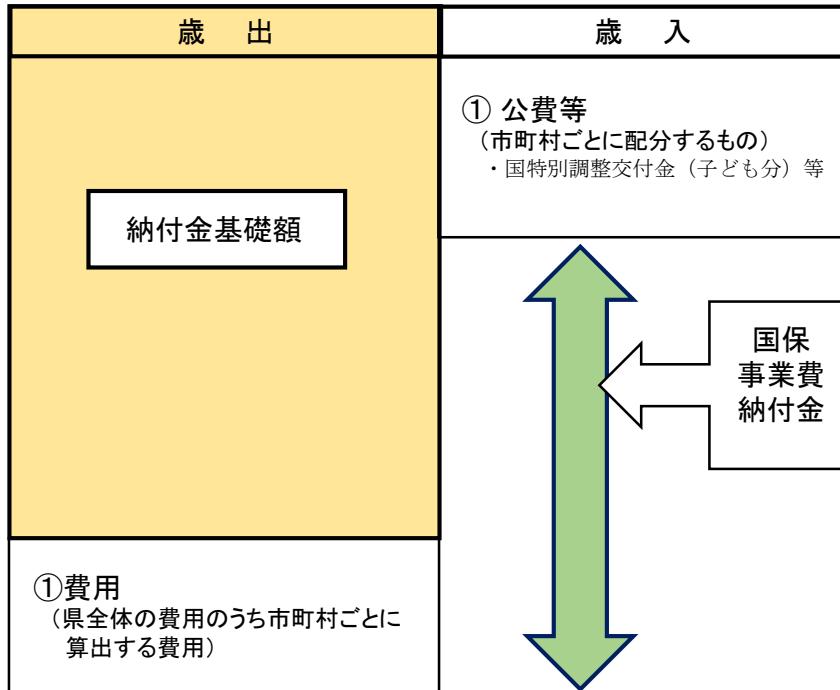
III 市町村標準保険料率の算定



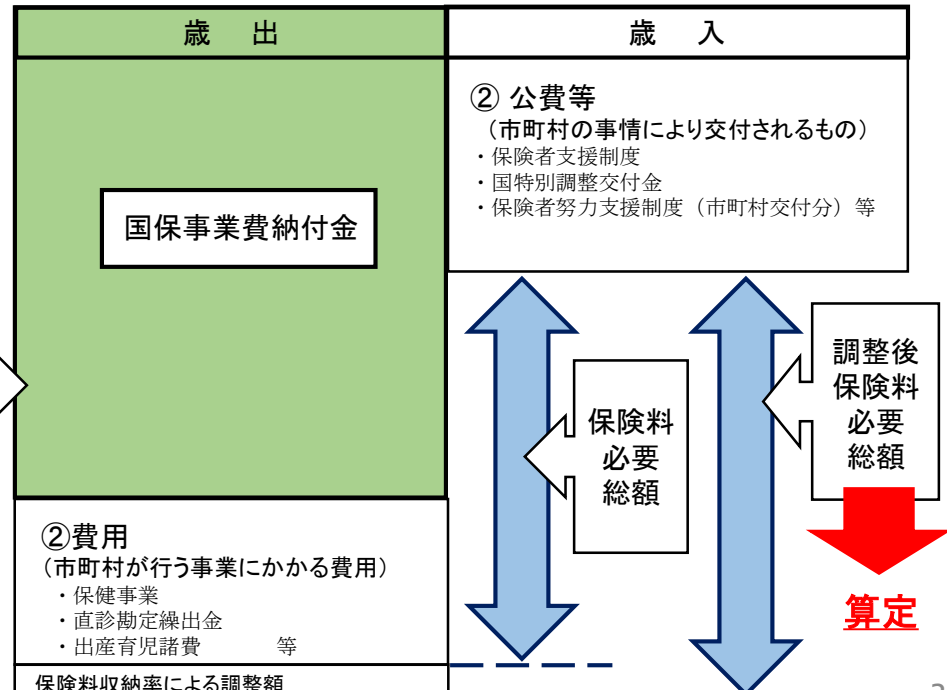
医療費水準の格差を反映させない場合



II 市町村ごとの国保事業費納付金の算定



III 市町村標準保険料率の算定

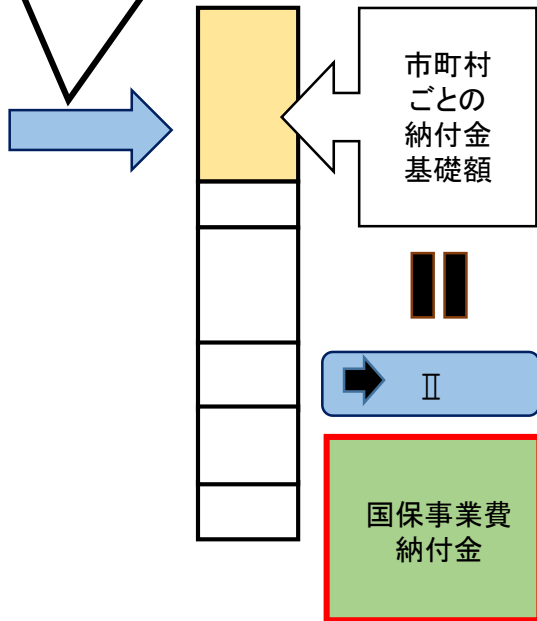


保険料水準の統一となる算定方法

I 納付金基礎額の算定

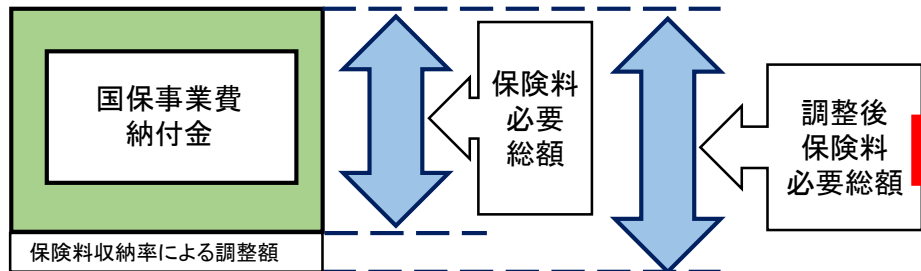
歳出	歳入
県全体の保険給付費等	公費等 (都道府県向け)
	① 公費等 (市町村ごとに配分するもの) ・国特別調整交付金 (子ども分) 等
	② 公費等 (市町村の事情により交付されるもの) ・保険者支援制度 ・国特別調整交付金 ・保険者努力支援制度 (市町村交付分) 等
①費用 (県全体の費用のうち市町村ごとに算出する費用)	岐阜県全体の納付金算定基礎額
②費用 (市町村が行う事業にかかる費用) ・保健事業 ・直診勘定繰出金 ・出産育児諸費 等	

< 納付金の算定方法 >
 ● α の設定 ($\alpha=0$)
 ● β の設定
 ● 配分方式は、3方式
 ● 保険料収納率を考慮



※市町村ごとの収入及び費用を納付金基礎額の算定基礎に含める。

III 市町村標準保険料率の算定



算定
 < 保険料水準の統一 >
 市町村標準保険料率が、すべての市町村において同じとなる。